





# 〈令和2年度 新学習指導要領の実施に向けた実践研究事業 六郷小〉

学年・教科：2年・算数 単元名：新しい計算を考えよう [かけ算(1)]  
ねらい：数量の関係に着目し、式に表現することや式を読むことを通して、乗法の式の意味について理解を深める。

教師の発問、生徒の反応	学習の様子
<p><b>1 前時までの振り返りを行う。</b> (13:25)</p> <p>T: 前時は何をしましたか。 S: かけ算の学習で5、2、3、4の段をつくってきたよ。 S: 学校の中にかけ算の式に表せる場面があったよ。</p>	<p>①えんぴつを1人に、2本ずつ5人にくばります。 えんぴつは、ぜんぶで何本ありますか。</p> <p>②えんぴつを2人に、5本ずつくばります。 えんぴつは、ぜんぶで何本ありますか。</p>
<p><b>2 2つの問題を読み、本時の学習課題をつかむ。</b></p> <p><b>〈くめあて〉</b> かけ算の式をつくる時は、どのようなことに気をつけるといいだろう。</p>	
<p><b>3 ①、②の問題の式を書き、図や言葉を使って立式の根拠をノートにまとめる。</b> (13:30)</p> <p>T: では、①と②の式をつくってみよう。理由も書いてみよう。 S: ①は<math>2 \times 5</math>、②は<math>5 \times 2</math>。 S: ②は<math>2 \times 5</math>? 出してきた数字を順番に式に書こうかな。 S: 式の説明、絵でかいてみよう。 S: 図で表すと・・・。 S: ①は2のまとまりが5つ。</p>	
<p><b>4 各自で考えた式とその根拠をペアで説明する。</b> (13:37)</p> <p>T: では、考えた式と理由を隣の人と説明し合ってみよう。 S: ①の式はどうなったかな。 S: <math>2 \times 5</math> 同じだね。 S: 2本ずつ、それを5人に配ったから、<math>2 \times 5</math>だよな。 S: 同じ図をかいたよ。 S: ②の式は違うよ。 S: どうしてその式になるのかな。</p>	
<p><b>5 ペアで考えた式と立式の根拠について、全体で話し合う。</b> (13:44)</p> <p>T: では、みんなが出してくれたホワイトボードを見てみよう。①の式をあらわしているものはどれかな。 S: 選んだ理由は、2のまとまりが5つあるから。 T: では、②の式をあらわしているものはどれかな。 S: 「1つ分の数」が5、「いくつ分」が2だから。</p> <p><b>考えが深まる働きかけ ②の式について、<math>2 \times 5</math>を検討する</b></p> <p>T: 先生は、②は<math>2 \times 5</math>だと思ったんだけど、なんで違うの。 S: 「1つ分の数」と「いくつ分」が逆になっているよ。 S: 図を見るとはっきりわかるね。</p>	
<p><b>6 学習のまとめをする。</b> (14:00)</p> <p><b>〈まとめ〉</b> かけ算の式をつくる時は、1つ分の数といくつ分を正しく見つける。(1つ分の数といくつ分のじゅんじょに気をつける)</p>	
<p><b>7 学習を振り返る。(視点:「わかったこと」「友達から学んだこと」)</b></p> <p>T: 今日の振り返りをノートに書いてみましょう。(14:05) わ: かけ算の式をつくる時は文章をよく読んで、1つ分の数といくつ分をしっかりと見つけなくてはいけないことがわかった。 と: 友達の図の説明が、分かりやすかった。</p>	